



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 V Tホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7593 URL http://www.vt-holdings.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 一穂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 山内 一郎 TEL 052-203-9500
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	34,400	20.5	1,382	56.3	1,443	55.2	603	18.0
27年3月期第1四半期	28,551	2.7	884	△38.4	929	△32.9	511	△31.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 771百万円 (44.3%) 27年3月期第1四半期 534百万円 (△33.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	5.13	—
27年3月期第1四半期	4.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	88,064	32,550	35.1	262.41
27年3月期	92,772	32,604	33.3	262.76

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 30,873百万円 27年3月期 30,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	10.00	—	8.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 平成28年3月期(予想) 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭(一部指定記念配当)

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	8.5	3,000	5.6	2,950	2.1	1,600	△23.0	13.60
通期	146,000	7.1	8,100	10.2	8,000	7.6	4,700	1.4	39.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	119,381,034株	27年3月期	119,381,034株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,726,578株	27年3月期	1,726,578株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	117,654,456株	27年3月期1Q	117,654,464株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内の新車販売市場は、登録車については持ち直しの傾向が見られるものの、今年4月にエコカー減税の厳格化と軽自動車税の増税が実施されたこともあり、届出車の落ち込みが続いており、当第1四半期における国内の新車販売台数は前年比5.5%のマイナスとなりました。

当社グループの中核事業であります自動車販売関連事業の当第1四半期連結累計期間における状況は、前連結会計年度に子会社化した自動車ディーラー3社の増加もあり、新車、中古車を合わせた自動車販売台数は17,656台となり、前年同期に比べ537台(3.1%)増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、連結売上高は344億円(前年同期比20.5%増)、営業利益は13億82百万円(前年同期比56.3%増)、経常利益は14億43百万円(前年同期比55.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億3百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

セグメントの業績概況

[自動車販売関連事業]

新車部門では、ホンダ車の販売台数が1,201台(前年同期比26.8%減)、日産車の販売台数が3,036台(前年同期比14.8%減)と国内では厳しい状況となりましたが、海外を含めた当社グループの新車販売台数は6,022台(前年同期比0.3%増)となり、増収増益を確保いたしました。

中古車部門では海外への輸出台数が1,689台(前年同期比25.9%減)となりましたが、国内販売を含めた当社グループの中古車販売台数は11,634台(前年同期比4.7%増)となり、増収増益となりました。

サービス部門では、前年度の車検入庫対象台数が一時的に少ない時期にあたる特殊要因が解消し、点・車検、修理、手数料収入等の受注拡大に注力し、増収増益となりました。

レンタカー部門では前連結会計年度に新規出店した店舗と既存店の稼動が堅調に推移したため増収増益となりました。

以上の結果、売上高は334億75百万円(前年同期比20.0%増)、営業利益は15億35百万円(前年同期比62.9%増)となりました。

[住宅関連事業]

当社グループでは「建築家と建てる家」をテーマに高級注文住宅を提供しており、市場ニーズの高まりとともに受注棟数・竣工棟数は各エリアとも堅調に推移し、業務の効率化や工事期間の短縮等に注力し収益率の改善に努めてまいりました。

また、マンションデベロッパーの(株)エムジーホーム(証券コード:8891)を前連結会計年度に子会社化し、新たに分譲マンション事業を展開しております。

以上の結果、売上高は8億90百万円(前年同期比42.2%増)となりましたが、分譲マンション事業は季節要因により第1四半期の収支が厳しいこともあり、営業損失は83百万円(前年同期は24百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は880億64百万円となり、前連結会計年度末927億72百万円と比較し47億7百万円減少いたしました。流動資産は323億89百万円となり、42億57百万円減少いたしました。これは主に商品(22億73百万円)、現金及び預金(12億40百万円)、受取手形及び売掛金(7億89百万円)の減少等によるものであります。固定資産は556億75百万円となり、4億50百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券(5億68百万円)、のれん(2億9百万円)の減少、建物及び構築物(2億95百万円)及び土地(2億19百万円)の増加等によるものであります。

負債合計は555億13百万円となり、前連結会計年度末601億68百万円と比較し46億54百万円減少いたしました。流動負債は383億14百万円となり、35億2百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(63億53百万円)、短期借入金の増加(28億70百万円)等によるものであります。固定負債は171億98百万円となり、11億52百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少(8億43百万円)等によるものであります。

純資産合計は325億50百万円となり、前連結会計年度末326億4百万円と比較し53百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少(2億8百万円)、為替換算調整勘定の増加(1億83百万円)等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期 第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日付「決算短信」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更に伴う四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,106	4,866
受取手形及び売掛金	5,017	4,228
商品及び製品	14,803	12,529
仕掛品	805	853
原材料及び貯蔵品	62	66
その他	9,876	9,866
貸倒引当金	△24	△21
流動資産合計	36,647	32,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,254	20,671
減価償却累計額	△11,941	△12,062
建物及び構築物(純額)	8,313	8,609
機械装置及び運搬具	3,603	3,466
減価償却累計額	△2,009	△1,999
機械装置及び運搬具(純額)	1,594	1,466
土地	19,000	19,219
その他	10,026	9,773
減価償却累計額	△4,478	△4,448
その他(純額)	5,547	5,325
有形固定資産合計	34,455	34,621
無形固定資産		
のれん	12,520	12,311
その他	527	520
無形固定資産合計	13,047	12,831
投資その他の資産		
投資有価証券	6,178	5,609
その他	3,402	3,569
貸倒引当金	△958	△957
投資その他の資産合計	8,622	8,222
固定資産合計	56,125	55,675
資産合計	92,772	88,064

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,903	9,550
短期借入金	10,351	13,221
未払法人税等	753	457
賞与引当金	862	380
その他	13,945	14,704
流動負債合計	41,817	38,314
固定負債		
社債	675	655
長期借入金	10,701	9,858
役員退職慰労引当金	596	601
退職給付に係る負債	730	729
資産除去債務	320	322
その他	5,326	5,032
固定負債合計	18,350	17,198
負債合計	60,168	55,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,297	4,297
資本剰余金	2,832	2,832
利益剰余金	23,402	23,193
自己株式	△98	△98
株主資本合計	30,433	30,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	362
土地再評価差額金	29	29
為替換算調整勘定	73	256
その他の包括利益累計額合計	480	648
新株予約権	-	3
非支配株主持分	1,689	1,674
純資産合計	32,604	32,550
負債純資産合計	92,772	88,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	28,551	34,400
売上原価	23,015	27,834
売上総利益	5,535	6,566
販売費及び一般管理費	4,650	5,183
営業利益	884	1,382
営業外収益		
受取賃貸料	18	18
持分法による投資利益	50	51
その他	79	95
営業外収益合計	148	164
営業外費用		
支払利息	72	79
その他	30	24
営業外費用合計	103	103
経常利益	929	1,443
特別利益		
投資有価証券売却益	2	0
その他	-	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	24	0
投資有価証券評価損	7	572
その他	8	0
特別損失合計	40	573
税金等調整前四半期純利益	892	870
法人税、住民税及び事業税	257	580
法人税等調整額	101	△313
法人税等合計	359	266
四半期純利益	532	603
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	20	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	511	603

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	532	603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△14
為替換算調整勘定	0	167
持分法適用会社に対する持分相当額	0	13
その他の包括利益合計	1	167
四半期包括利益	534	771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	514	771
非支配株主に係る四半期包括利益	20	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車販売 関連事業	住宅 関連事業				
売上高						
外部顧客への売上高	27,889	625	35	28,551	—	28,551
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	394	191	597	△597	—
計	27,901	1,020	227	29,148	△597	28,551
セグメント利益又は損失(△)	942	24	△45	920	△35	884

(注)1 その他は、グループ全社管理部門等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、すべてセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車販売 関連事業	住宅 関連事業				
売上高						
外部顧客への売上高	33,475	890	35	34,400	—	34,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	11	194	220	△220	—
計	33,489	901	229	34,621	△220	34,400
セグメント利益又は損失(△)	1,535	△83	△74	1,377	4	1,382

(注)1 その他は、グループ全社管理部門等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、すべてセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。